

慶州

キョンジュ

ヒョンとユニ

耳、さわってもいいですか？



「キムチを売る女」「春の夢」「群山」「福岡」 名匠チャン・リユルが描く、詩情緒の世界。
A PEOPLE CINEMA、「台北暮色」に続くアジア映画第2弾。

경주 監督：チャン・リユル 出演：パク・ヘイル シン・シナ <http://apeople.world/gyeongju/>

愛を捨て、愛を亡くし、夢の淵へ……。



イントロダクション

韓国、古墳の街、慶州（キョンジュ）。この地を訪れた男・ヒョンと、そこに住む女・ユニ。韓国映画界を代表する名優、パク・ヘイルと、演技派に成長したスター、シン・ミナが演じる男と女が出逢ったとき、時を越えて消えたものがふたりを強く結びつける。そして、いつか見た、生と死の間に、その哀しみが溶けていく——。監督は、今年のベルリン映画祭で最新作「福岡」が上映されたチャン・リュル。初期作品「キムチを売る女」がカンヌ映画祭で受賞して以来、発表した作品「春の夢」「群山」など常に世界の映画祭で注目を集めてきた。日本では知られざる、世界の名匠だ。本作「慶州（キョンジュ）ヒョンとユニ」は、チャン・リュルがこれまでと違う次元に入ったターニングポイントとなる一作。ここからチャン・リュルの新しい世界がはじまる。映像で、人の心を書く、映画作家の美しい傑作である。

物語

親しい先輩の訃報の知らせから、久しぶりに大邱（テグ）を訪れた北京大学教授のチェ・ヒョン（パク・ヘイル）。亡くなった先輩との7年前の旅を思い出したヒョンは、衝動的に、そこからほど近い慶州（キョンジュ）へと向かう。以前と変わらず、美しい緑に包まれた古墳が並ぶ街を懐かしむヒョン。彼にはどうしても確認したいものがあった。それは、茶屋にあった一枚の春画。その茶屋を訪れたヒョンは、美しい主人・ユニ（シン・ミナ）に出逢う。そこに春画は、もうなかった。ユニによれば、7年前からそれは存在しないという。ヒョンはその後、かつて一夜を共にした後輩の女性をソウルから呼び出すものの、衝撃的な秘密を打ち明けられる。そして、ユニにも哀しい過去があった……。春画を探すヒョンが辿り着く意外な結末とは——。エンディング曲の題名は「サラン（愛）」。詩情緒に満たされるラスト……。

